

龍谷の教育

No.152

2019.Autumn



〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>



きみだけの「今」を 翔け抜けろ!



「一歩立ち止まって」



教頭

原田 淳

私に物心が付いた頃、母の左手には指が一本もなかった。後に聞いた話だが、二十歳のときに工場勤務だった母は、左手を機械に挟まれ指を失ってしまっただけでなく、常に明るく振る舞い、仕事がない限りは必ず授業参観にも参加してくれた。

そんな母だが、料理は上手く、裁縫や掃除などの家事全般を器用にこなすだけでなく、常に明るく振る舞い、仕事がない限りは必ず授業参観にも参加してくれた。

みなさん、想像してみてください。もし若い頃に左手の指をすべて失ったらどうしますか。少なくとも、私が見た母の姿は、しっかりと現実を受け止めて「覚悟」して生きていると感じさせるものでした。

辞書を引くと「覚悟」とは、危険なこと、不利なこと、困難なことを予想してそれを受けとめる心構えをすることと記されています。私にも、これまで様々な壁ともいうべき出来事が数多くありました。しかし、母の姿を見て育った私は、困難の中でも合理化（人のせいにして、言い訳をしたりして自分を正当化する）や逃避といった選別方法を避けて選ぶことができず、常にポジティブに考え、対応することを心がけてきました。おかげで、人よりも若干心身

共に強くなれたように思います。

中学から高校に進学する際、ほとんどの人が将来の夢や展望を持ち入学してきたことと思います。しかし、志望進路への挑戦を控えている三年生はともかく、一・二年生の現状はどうでしょう。こんなはずではなかった」「失敗した」など、安易に逃げ道をつくっていませんか。物事を成就するということは、決して簡単ではありません。勉強もスポーツも、自分なりに努力しているからといって思うような成果が得られるとは限らないのです。ここで考えてみてください。「覚悟」が足りなかつたとは思いませんか。また、自身の性格やこれまでの取り組みに対して、適切な自己評価ができていますか。それが確実にできていれば、取り組むべき具体的な課題が見つかるはずですが、自己評価そのものを間違えているとしたら……。日頃から自身の目標に向かって一生懸命に取り組んでいる人ほど、時間が足りないことに気づかされず、それが「もつと頑張らなければ」といった焦りや不安につながり、悪循環を招く原因ともなります。それらを解消するために心にゆとりを持ち、適切な自己評価に努めてください。

みなさんの可能性は、無限大です。今一度、「覚悟」のリセットを行うとともに、しっかりと自身を振り返りましょう。そして、今後の「頑張り方」を確立させ、皆さんが備えている潜在能力を最大限に開花させてほしいと心から願っております。

先日、昨年送り出した大学2年生になる教え子から全国大会のメンバーに控えてはあるが選ばれた、という嬉しい連絡があった。高校2年生の冬、彼らは一度歴史を築いた。そして3年生の秋、もう一度新たな歴史を積み上げるべく臨んだ準決勝、佐賀東高校に10-9のPK戦で敗れた。その時、PK戦までもつていく劇的な同点ゴールを決めた生徒だった。当時、クラスで毎日3分間スピーチをしていたのだが、敗戦翌日その生徒の番だった。正直私は迷っていたが、彼は前に立ち、みんなをまっすぐ見据えて、「昨日は応援に来てくれてありがとうございました」「全国につれていってあげられなくてごめんなさい」と再び頭を下げた。女子生徒の中には涙ぐんでいる子もいた。彼はこの2年半で辛かったこと、苦しかったこと、同じクラスで3年間共に過ごしたGKが同点ゴールの時に泣いていたこと、この3年間で学んだことなどをぼつぼつと話した。最後に、「必ず大学で全国で活躍する選手になる。そのときは応援に来てください」と締めくくった。

私にはできなかった、クラスの落ち込んだ雰囲気をついに彼の言葉。幼い頃から活躍して、どちらかと言えば「オレオレ」だった彼が、クラスのみんなに御礼を言い、一番悔しいはずなのにごめんなさいとクラスメイトへの思いを伝えたあのスピーチは、龍谷

同朋

での3年間を体現したものだったと思っている。私達が教えることより彼らはその経験と涙から大きく大きく心を成長させていた。一歩ずつ前進する彼が最近教えてくれた逸話がある。

「時計には長針と短針の2つがあつて、1時間に1度すれ違う。1時5分頃、2時10分頃と毎時間1回は重なる。だが、11時台だけは短針が先に逃げ切つて、2つの針は重ならない。そして次に針が重なる時は12時、鐘が鳴るとき。『鐘が鳴る前は報われない時間がある』ということ。人生における11時台は必ずある。でも時計の針は必ず重なる。だから挑戦してください」

私もよく生徒達に言う。「努力をしても報われないことがある。それがわかっていても報われない努力をやり続ける人だけが本物になっていく」と。

人間の一生は、「死」に向かって歩いて行くが、生まれてきて生きてきてよかつたのか、今の私にはわからない。それでも、「生きていく」というチャレンジを親から与えてもらった。人生の11時台はもしかしたらかなり長いかもしれない。でもいつか、何かの形で鐘は鳴るだろう。その音は小さくても。

忘れられない3年間を過ごした学年だった。様々なことを共に乗り越えてきた大切な教え子が、私達教員をいつの間にか追い越して、一つ、人生の大事な何かを教えてくれた。

English Camp ~成長を実感した国内留学体験~



令和元年8月7日(水)8月9日(金)の2日間、ネイティブスピーカーがコーチとして係わる英会話講座を11時間(50分×11コマ)体験するEnglish Campが龍谷高校で行われました。本来ならば、3日間の予定でしたが、今回は台風の影響で短縮バージョンになってしまいました。この2日間はもちろんAll English(オールイングリッシュ)です。今年度は、特別進学科1年生(37名)と応募による文理コースや総合コースの生徒たち(3名)、合わせて40名が3つのコースに分かれて意欲的に活動しました。

3つのコースのうち、1つはIntermediate(中級)コースでした。このコースの目標は個人によるShow & Tell(宝物紹介)のプレゼンです。実物や写真、絵などを見せながら、自分のお気に入りの品物やペット、思い出などを英語で紹介するものです。最終日には、全員がとても上手に、また効果的なスピーチを行いました。

2つのAdvanced(上級)コースでは、2つの目標がありました。個人によるMy Future Dream(自分の将来の夢)のプレゼンとグループによるIntroduction of Japanese Culture(日本文化紹介)のプレゼンでした。最終日には、全員が将来の夢を具体的に述べるとともに、その理由を明確に提示したすばらしいスピーチを行いました。グループプレゼンでは、分かりやすい日本文化の紹介ができました。

English Campは英語の4技能:リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングが知らぬ間に高められるよう構成されており、プレゼンだけでなくゲームや歌、スキット、ディスカッションなど多様な活動を通して笑い声の絶えない楽しく充実した時間となりました。最終日にはコーチから修了証書が与えられ、生徒たち一人一人に励ましの言葉が添えられました。

この2日間のEnglish Campを通して生徒たちの英語力及びチャレンジ精神が高まり、間違いを恐れない雰囲気が生まれました。アンケート結果でも「英語力についての成長実感」として、100%の生徒が「英語を話すのが楽しいと思うようになった」90%の生徒が「英語をもっと勉強したい」87%の生徒が「英語に自信を持てるようになった」と回答しています。「自分の中の成長点」として、87%の生徒が「海外に行ってみたくなった」79%の生徒が「日本のことをもっと世界に伝えたいと思うようになった」97%が「外国の人と積極的にコミュニケーションできるようになった」93%が「将来の夢や目標を持つための参考になった」と回答しています。来年度もより多くの生徒に参加してもらいたいと思います。(文責 陣内)



自分への挑戦!

~ 特別進学科勉強合宿 ~

7月20日(土)~22日(月)、熊本県荒尾市のセキアヒルズにて、特別進学科全生徒対象の夏の勉強合宿を行いました。3日間での総学習時間は、約23時間!「やらされる」のではなく、「自ら考え、学ぶ」姿勢を大切にしています。初めて参加した1年生の金子友彦さん(大浦中)は「大変だったけれど、自分で計画を立て、長時間勉強をする経験ができました。今後の高校生活にも生かしていきたいです」と話していました。来年受験をひかえている3年生の竹下愛美さん(鹿島西部中)は「家ではついスマホを見たり、ダラダラしたりする時間が増えてしまいがちですが、この合宿では級友と共に集中して勉強をすることができました。とても充実した3日間になりました」と語っていました。

23時間の勉強を通して、自分の限界に挑戦し、大いに成長した3日間でした。(文責 吉田)



一足早く、高校生活を体験!

~ オープンスクールへのご参加ありがとうございました! ~

8月7日(水)、20日(火)の2日間、第2回オープンスクールを開催しました。当初の計画では8月6日(火)も開催予定でしたが、台風接近のため、急遽2日間の日程に変更となりました。コース説明や模擬授業、理科の実験、部活動体験、はたまたスイーツコーナーなど、各ブースに分かれ様々な催しがあり、中学生のみなさんも大満足の様子でした。

急な日程変更にも関わらず、両日とも多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

(文責 吉田)

求む! 挑戦者! ~龍谷模試のお知らせ~

来る11月9日(土)、中学生対象のオープンスクールを開催します。今回は「龍谷模試」!

本番の入試と同じ環境で、試験が受けられます。参加者にはもちろん結果もお送りします。ぜひふるってご参加ください!! (当日はすらすら入試説明会、講演会、個別相談会も実施されます。詳細は龍谷高校のHPをご覧ください) (文責 吉田)

ブラインドサッカー交流会



龍谷サッカー部 × 県立盲学校



※プライバシー保護のため、写真を一部加工しています。

7月18日(木)、サッカー部の選手40名が、県立盲学校の生徒の皆さんとのブラインドサッカー交流会に行ってきました。ブラインドサッカー女子日本代表カイドの藤井潤コーチ、ブラインドサッカー女子日本代表の橋口史織選手をお迎えしての交流会。
音を頼りに声を出して、一生懸命コミュニケーションを取りながらのサッカーでした。笑顔があふれ、歓声が上がリ、蒸し暑さも爽やかに変わるような交流会でした!!
一緒に工夫しながら楽しむこと、アイデアを出し合うこと。大切なことをたくさん教えていただきました!
スポーツの可能性、夢を与えること、希望の光を照らすことの大切さも学んだようです。

またMINNO様よりカラーコーンとマーカー、大塚製菓様よりボカリスエットを協賛していただきました!!ありがとうございました。
(文責 不二見)



2年文理進学コース又吉春太さんのeポートフォリオより
「自分は今回の体験でたくさん
のことを感じた。目が見えなく
ても、落ち込んだりせず、とて
も楽しそうにしている様子を見
て、ハンデのない自分がマイナ
ス思考になったり下を向いては
いけないなと感じた。また、関
わっていく中で、耳でしかコミュ
ニケーションを取れない方にど
う自分の気持ちを伝えるかがと
ても難しかった。
監督が言われたように、今回
勇気をもったのは自分達だと思
うので、今度は勇気を与えら
れるように努力をして、選手権
でいい結果を残したい。」

ひとつに ~龍谷から広がる交流の輪~

佐賀大学留学生との交流会



7月18日(木)、特別進学科1年生を対象とした、佐賀大学留学生との交流会を行いました。異文化理解・異文化交流のきっかけの一つとして、毎年夏休みに行っています。

今年はインドネシア・マレーシア・ミャンマー・スリランカ・エジプトなど様々な国の留学生をお招きして、少人数のグループに分かれ英語で交流しました。

今年の大きなテーマは「SDGs」。SDGsに関連する各国の現状や課題について理解を深めるのが目的です。初めは緊張した表情で接していた高校生も、交流するうちに自然な会話ができるようになり、会の後半では競って留学生に質問していました。教室のあちこちで、笑い声や真剣な討論の音が響く、有意義な交流会となりました。
(文責 吉田)



ハワイの自然と人々の優しさ ~PBA留学体験記~

特別進学科2年生の坂井昭良さん(佐大附属中)が、この夏、龍谷総合学園の姉妹校でハワイにある高校PBA (Pacific Buddhist Academy) で短期留学を体験しました。忘れられない大切な夏になったようです!



私は6週間、ハワイの龍谷総合学園に所属する高校(BPA)に留学し、非日常的な体験をしました。その期間の中で印象に残ったことを2つ紹介します。

1つ目は、ハワイの人たちは自然を大切にすることです。

私はPBAで環境科学の授業を選択しました。その授業は週に2回山や海にいき、植物や藻類、魚を観察し記録するような授業で、その動植物の中でネイティブかノンネイティブかを分類し、なぜ外来種が侵入してきたのかをハワイの歴史と関連させて学びました。ハワイの人たちは、観察する時、目で見て記録するのではなく、手で触れて、匂いを嗅いで、驚いたことに、木の实などは食べて、触感や匂い、味をワークシートに記録していました。また、海に行った時には、海に悪影響を与えないように、自然の成分でできた日焼け止めを貸してくれたり、一通り授業の内容が終わったら、先生や生徒は水着に着替えて海に一斉にダイブしたりして自然を大切にするとともに、自然の恩恵に深く感謝しているようでした。

2つ目は、ハワイの人たちはみんな優しいということです。

ハワイには、挨拶で使う、アロハという言葉があります。このアロハという言葉には、「思いやりと素直な心をもって他者に感謝し、慈悲と愛情を与え幸福を分かち合う」という意味が込められています。そのためか、初日から積極的に質問してきたり、授業で山に行った時に私が水を忘れてたら、水をくれたりと、とてもフレンドリーで親切な人が多いと感じました。また、週の始め日には、ホームルームがあり、そこでは誕生日が近い人や部活動の成績の発表があり、幸福はみんなのものというような感じで、祝福の歌と大きな拍手が起ります。



私は、留学を経験したことで大きな自信がつかしました。留学前は人前で話すことが苦手で、自分から英語を話すことすらできませんでした。しかし留学生活では人前でスピーチをしたり、レッスンで自分の考えや想いを伝えたりすることで、恥ずかしさがなくなり、自信が持てるようになりました。

私はこれから、ハワイで学んだアロハ精神で生活しつつ、今回の留学で支えてくれた家族や先生方に学習面や生徒会活動などを通して恩返ししていきたいです。また、今回の留学をひとつのステップとして、次の留学実現に向けて、今まで以上に努力したいです。 2年A組 坂井昭良

障害・国境 関係なく



日中交流 @龍谷



7月25日(木)『さが総文2019』開会式・パレードに参加するため、中国、韓国、オランダの高校生が来佐しました。龍谷高校は中国貴州省北京師範大学貴陽附属中学校(日本の高校に相当)の学生たちを招待。講堂での歓迎セレモニー後、木目込み細工を紹介、浴衣を着て一緒に本丸歴史館を散策しました。交流会の最後にはペアで漢字一字を選び、それぞれの感想を発表しあいました。異文化を学んだだけでなく、再会を約束し、中国留学をしたいという生徒も出てきたようです。今回の経験が、将来国際社会で生きていく何かの原点になればと思います!



(文責 徳森)



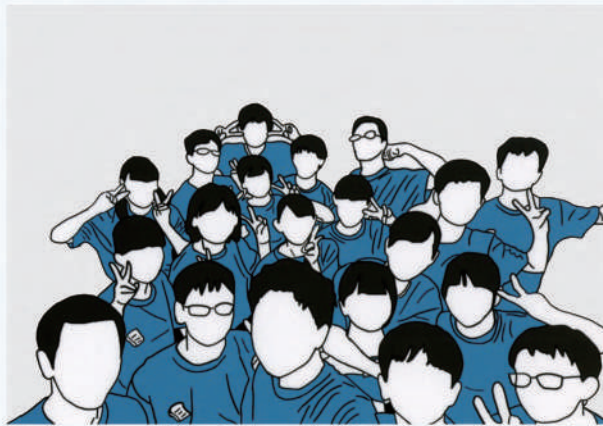
各団コメント

感謝!!



最高に楽しい体育祭になりました
 泥山のつゆか
 ありがとうございます♡
 赤軍サイコ——ウ!!

団長 森 葵



青団の
 みなさん!
 ありがとう
 ございました。
 団長 内田 康誠



Thanks a lot!!!
 全員にとって、ステキな思い出
 になっていたら嬉しいです。
 頼りない団長についてきてくれて、
 ありがとう!!!

大塚 兼菜

- ◇第101回全国高等学校野球選手権佐賀大会(7月12日、16日) みどりの森県営球場
- 2回戦 龍谷 4-12 早稲田佐賀
- 3回戦 龍谷 1-15 佐賀北
- ◇令和元年度秋季差佐賀市長期高等学校野球大会(8月21日、24日) 佐賀ブルースタジアム
- 1回戦 龍谷 9-11 高志館(8回コールド)
- 2回戦 龍谷 8-11 佐賀東(7回コールド)
- ◇第145回九州地区高等学校野球佐賀大会(9月15日) みゆき球場
- 2回戦 龍谷 9-11 伊万里
- 書道部**
- ◇第39回全国書画展覧会
 - ・特選(条幅) 牟田 早希(③) 龍谷
 - ・特選(半紙・奨励賞条幅) 樺島 雪乃(③) 東与賀
 - ・特選(条幅) 鬼塚 菜穂(②) 龍谷
 - ・特選(半紙) 宿利 芽生(②) 三橋
 - ・奨励賞(条幅・半紙) 光江 未来美(③) 神埼
 - ・奨励賞(条幅) 松枝 光(②) 川副
- ◇第48回全国高校書道展
- 準特選 牟田・片江・樺島
- 準特選 牟田
- ◇弘法大使奉賛第52回高野山競書大会
- 銀賞 鬼塚・宿利 銅賞 片江・樺島
- ◇第18回岐阜女子大学全国書道展
- 優秀賞 牟田・松枝・宿利
- 吹奏楽部**
- ◇第60回佐賀県吹奏楽大会(佐賀市文化会館)
 - ・Aパート 金賞(県代表)
 - ・Bパート 金賞
- ◇第64回九州吹奏楽コンクール(熊本県立劇場コンサートホール)
- 銀賞
- ◇佐賀県音楽コンクール(佐賀市文化会館)
 - 金賞 藤井 美来(③) 白石
 - 銀賞 野中 龍(③) 鍋島
- 3位 永瀬 豊人
- 4位 43秒43
- 女子総合8位、フィールド7位
- 3位 三井 悠斗(②)
- 2位 小川 さやか(②) 千代田
- 4位 やり投げ 31m62
- 5位 砲丸投げ 8m24
- 7位 七種競技 19分41点
- 5位 女子100m池上 伊奈(①) 福富
- 5位 女子200m 27秒36 美桜(①) 武雄
- 8位 4×100mリレー 4位 51秒58
- 3位 大島 悠亮(城北・田久保琉女(鍋島))
- ◇令和元年度佐賀県高校夏季ソフトテニス大会(女子)(8月21日) 森林公園テニスコート
- ベスト16 森武 晴香(諸富・中町) 步子(成章)
- ソフトテニス
- ◇令和元年度佐賀県高校生夏季ソフトテニス大会(男子)(8月21日) SCSサンライズパーク
- ベスト32
- 九州大会出場
- 九州大会出場

龍中パワー全開!! 大活躍

龍谷中学校 一人ひとりが光輝く

中学校

「第1回SDGsフェスティバル」開催

8月3日(土)、龍谷中学校生徒が企画・主催、そしてNPO法人「地球市民の会」のみなさんのサポートにより、「第1回SDGsフェスティバル」を開催しました。

実行委員を中心に1年生から3年生まで、様々なコーナーを設け、SDGsに関する取り組み発表や交流、ゲームなどを行いました。

また、佐賀大学国際交流サークル「News One」の大学生や留学生との異文化交流、「シギの恩返し米」販売なども行い、当日は、本校の中学生・高校生、保護者、一般来校者などで大いに賑わいました。

いろいろな人たちとのつながりを深める貴重な機会となり、生徒諸君も少しだけ自信をつけたようです。



「熱戦、体育大会」

〜粉骨砕身〜

今しかできないことがある

9月1日(日)、「第24回龍谷中学校体育大会」が、大雨の影響などもあり当初予定より一日遅れて本校体育館にて開催されました。

三学年を縦割りにした団編成(赤団・白団)で、個人競技・団体競技・ダンス・応援演舞など、生徒・教職員・保護者が一体となって盛り上がりました。両団の成績結果は、偶然にも同点となり、これまでに例のない両団同時優勝となりました。



行事フォトギャラリー

◆二年生職場体験・二年生（7月30日・火）8月1日・木



◆テーブルマナー講座・全学年（9月4日・水）



◆国内語学研修「ハウスステンボス」全学年（9月6日・金）



龍中生、大躍進

◆剣道部男子団体

佐賀県大会9年ぶり「優勝」→九州・全国大会へ

《小川侑也主将(③千代田西部小)のコメント》

「これまで県内大会で、なかなか勝つことができず悔しい思いをしてきました。三年生最後の大会は、7人の力を合わせ、落ちついて一戦一戦挑みました。一回戦から、みんなの動きや雰囲気がよく、「つなぐ」思いで戦った結果が県大会優勝でした。今回の試合は、とにかくみんなの集中力が切れなかったのも印象的でした。」



◆国土交通大臣賞（優秀賞）受賞

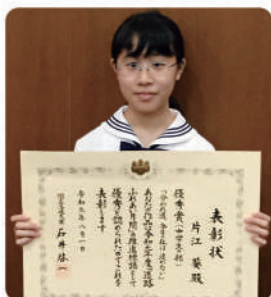
国土交通省「道路ふれあい月間」推進標語

中学生の部「分かれ道 今日私は 迷わない」

片江 葵さん(③北川副小)

《コメント》

「これまで優柔不断な性格で物事を決めることができなかったので、自分自身を変えていくきっかけとして標語の内容を考え、応募することにしました。まさか、入賞するとは思っていませんでしたので、正直、驚いているところです。一瞬一瞬、今日こそはという気持ちでいろいろなことに取り組みたいです。」



◆産経新聞社賞 受賞

第35回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会

(主催)公益財団法人日本武道館

毛筆の部 岩野 凜さん(②旭小)

《コメント》

「小学一年生から書道を習い始め、これまでにいろいろな作品展に挑戦してきました。今回の受賞は、今までの中で一番嬉しい結果となり、今後ますます頑張ろうという励みになりました。書道に取り組んでいる時が、一番集中できていて、楽しい時間です。この経験をこれからの学校生活に活かしていきたいです。」



九州龍谷短期大学 広報サークルの活動

九州龍谷短期大学では、今年度から人間コミュニティ学科映像・放送コースの学生を中心とした広報サークルを起ち上げて、様々な広報活動を行っています。

放送局での本学広報活動



佐賀市のえびすエフエムで放送されている「スマイルダイアリー」に特別出演しました。FM 佐賀やNBC ラジオ佐賀などでの実習と違い生放送番組への出演には緊張の表情です。

イメージビデオ制作

龍谷高校のイメージビデオを作成するため、校舎内外での取材・撮影を行い、龍谷高校のオープンスクールで放映しました。天候や時間割の都合で、撮影日程が合わなかったこともありましたが、撮影にご協力いただいた皆様ありがとうございました。



食堂でのインタビュー



校内での様子



サッカー部の練習の様子



吹奏楽部の活動の様子



九州龍谷短期大学のLINE公式アカウントをご存知ですか？

オープンキャンパスやガイダンスの出展情報、入試情報など様々なお知らせをお送りします。
「九州龍谷短期大学」で検索後、ぜひ「友だち追加」してください。

学園だより

TEL 0942・85・1121

鳥栖市

佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。
詳しくは、各学校事務室までお問い合わせください。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園

◎2019年10月より、保育料の無償化(10月1日～)

対象は、幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳児から5歳児までのすべての子どもたちです。

◎2020(令和2)年からの入園受付開始(11月1月～)

1号園児はこども園へ、2・3号園児は市町へ申し込みます。

◎こども園で毎週火曜日に未就園児を対象に「子育てサロン」が開催されています。

《メニュー》

- ①折り紙教室 ②看護師さんのお話 ③おむすびデー ④リトミック遊び ⑤サッカー場で遊ぼう

この秋も、龍谷こども園の調理室からおいしい給食が提供されます



きのこご飯 鶏の竜田揚げ
コーンとじゃこの和え物 梨 南瓜の味噌汁



年齢に応じた食事や量が異なっています。子どもたちの食べ方は・・・。